

コロナに負けない!



第66回 長崎県美術展覧会 デザイン部門 知事賞 『混呂波の乱』

コロナウイルスと人類との戦いをモチーフに、武者絵風に描かれた作品です。2020年のコロナウイルス蔓延を象徴した図（右）と2021年のワクチンによる制圧の図（左）の二対で構成されています。背景に描かれたコミカルな妖怪たちの姿にも注目です。今年の長崎県展デザイン部門で知事賞（第1席）を受賞されました。

ここに注目!

議会が身近に!

生放送・QRコードで配信

はさみ 

No.156 令和3年11月号

議会だより

今月の
はさみの人

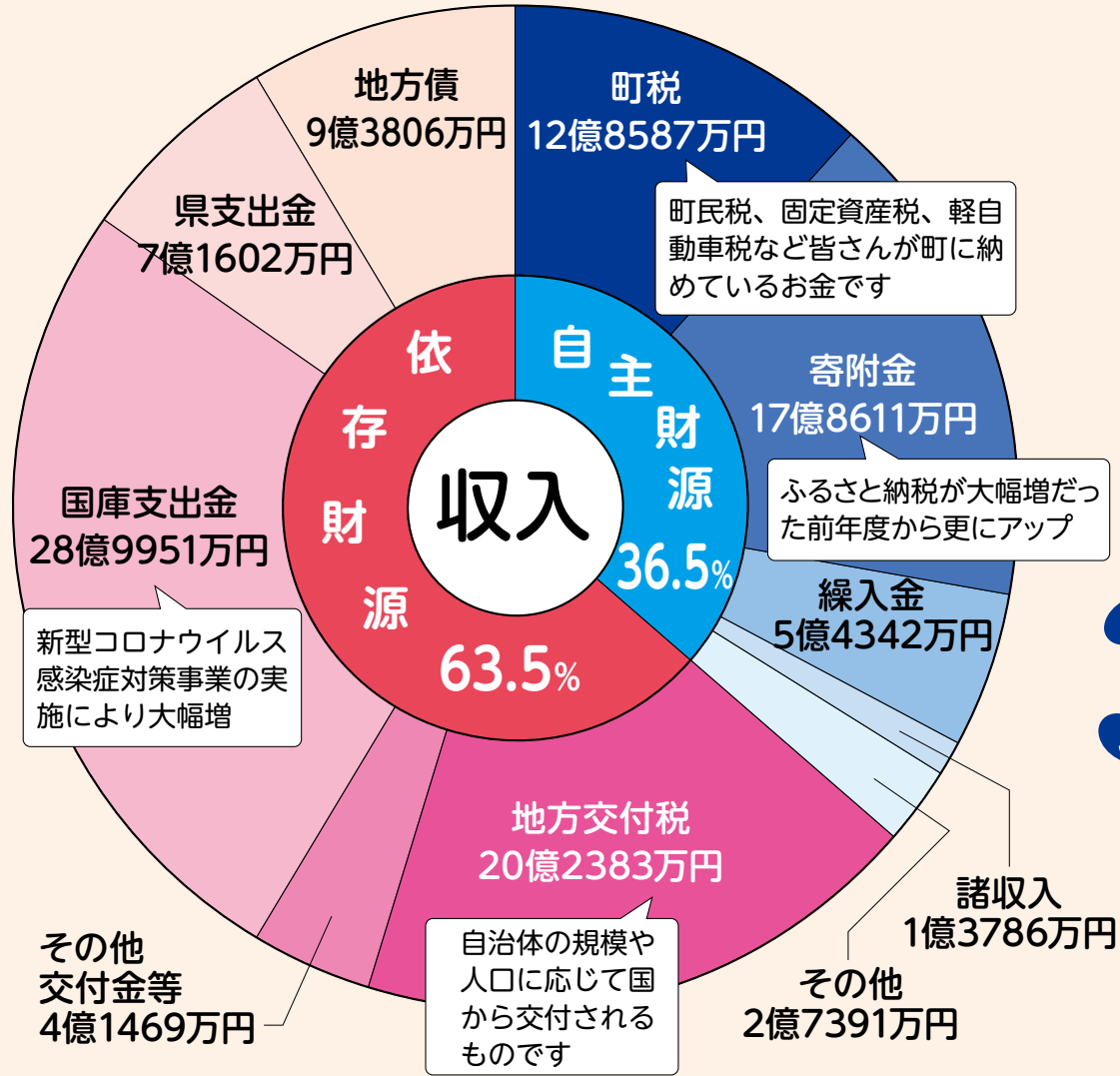
みやぎ かえで
宮城 楓さん
波佐見高校 美術・工芸科2年



の収支

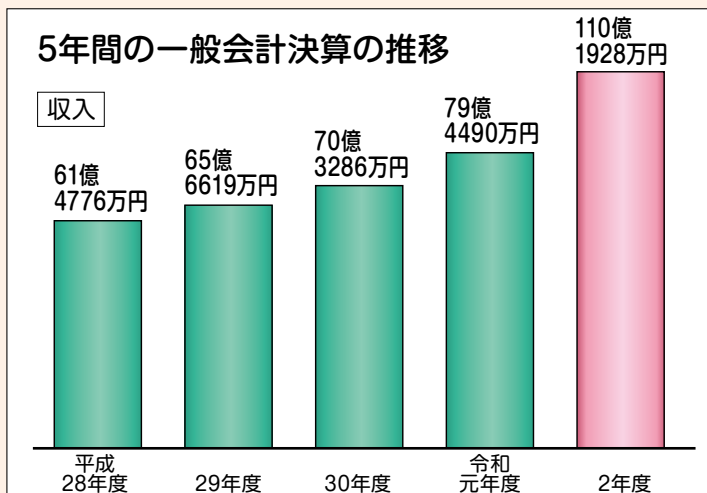
初めての**100**億円台

収入(財源) 110億1928万円 (38.7%増)



前年度より
30億7438万円の増

今回の決算特別委員会は、議長及び議選監査委員を除く12名の委員で構成し、9月定例会会期中3日間に渡り、審議を行いました。事業の成果や反省点、決算を踏まえて今後どのように活かしていくのかなど、多くの質疑が出されました。審議の結果、令和2年度一般会計歳入歳出決算他6件については、全会一致で認定されました。

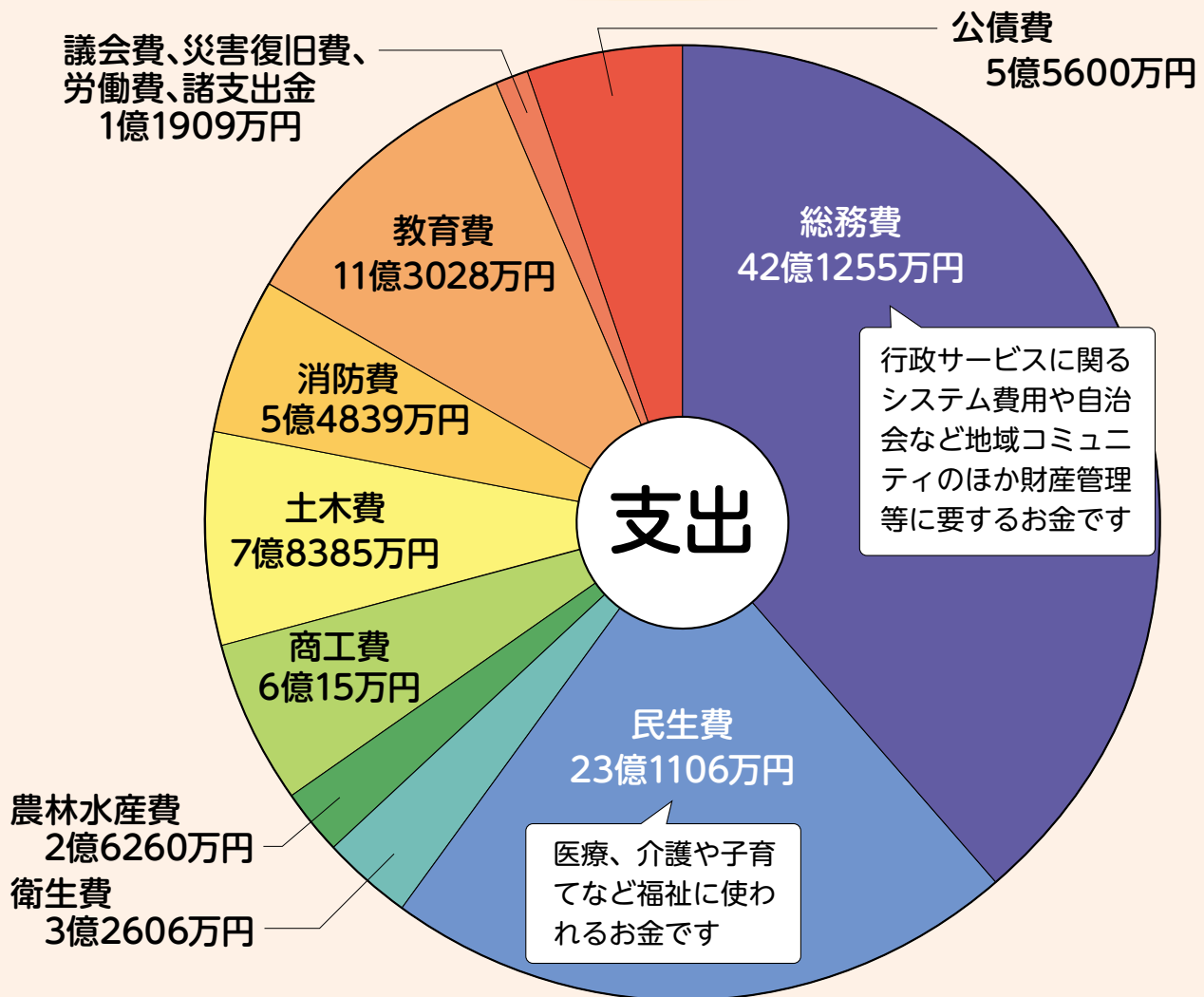


前年度比の増収の主な内訳

項目	増収額
国庫支出金	19億4165万円
地方債	3億4096万円
寄附金	3億5681万円
繰入金	2億4350万円

令和2年度決算一般会計

支出(使い道) 108億5003万円 (38.8%増)



主な新型コロナウイルス感染症対策事業

・特別定額給付金

1人あたり10万円の給付金を支給

・緊急経営支援給付金

1か月の売上高などが前年同月比20%以上減少した事業所へ一律20万円の給付金を交付

・プレミアム商品券事業

町内の経済活動活性化のため、プレミアム商品券を販売・贈呈

・事業継続支援給付金

事業活動に大きな影響を受けている事業者に対する給付金の申請受付



決算特別委員会 Q & A

令和2年度の決算を審議しました。主な質疑を紹介します。

総括

Q 歳出全体に占める農林水産業費の割合が低い印象だが、農業へ力を入れた施策ができなかったか。
A 令和2年度は、特別定額給付金の影響で農林水産業費の割合が下がっているように見えている。

Q 新型コロナウイルス感染症に伴う対策費の総額は。
A 21億1500万円程。その内一般財源で1億2000万円程かかっている。

歳入

Q ふるさとづくり応援寄附金が増えることで交付税に影響しないのか。
A 影響はない。

Q 基金の積立金はどのような根拠でやっているか。
A 財政調整基金は債権の利息収入。ふるさとづくり応援基金は寄附金から謝礼品の経費を差し引いた残りの額。庁舎建設基金は前年度の財政のやり繰りで積立て可能となった金額である。

総務費

Q 犯罪被害者見舞金とは。
A 犯罪の被害者にケアが必要と警察から要望があり昨年条例を制定化したもの。1件10万円。

Q 空き家・空き工房として把握しているのは何件か。
A 平成30年度に調査し、148件把握している。空き工房は調査していない。

民生費

Q 他市で災害時に民生委員の死亡事案があった。
事故の際の民生委員の補償は十分か。
A 全国の民生委員児童委員協議会の保険補償制度があり活用している。

Q シルバー人材センター育成事業補助金の算出根拠は。
A 国庫補助金を参考にセンターと協議し計上している。

衛生費

Q 動物死体処理手数料とは。
A 道路などで死んでいる小動物を回収する際のシルバー人材センターに支払う手数料である。

Q 清掃費ごみ処理料の増加の要因は。
A コロナ禍で外出自粛もあり、断捨離で処分が増えたものと考え

Q 町民霊園に公衆トイレ、駐車場の整備は。
A 防犯上や費用対効果を含め、研究していきたい。



町民霊園

農林水産業費

Q 若い担い手育成の手だてができないか。
A 今後研究し、より良いものにしていきたい。

Q 小規模農林事業費補助金は申請数に対して漏れなく実施したか。
A 補助対象となる申請については全て実施した。

土木費

Q ハザードマップ作成後どのように周知するのか。

A 自治会を通じ、各家庭に配布している。

Q 波佐見縦貫線は、計画的な除草作業をしているのか。



縦貫線の雑草木

A 令和2年度は7月と11月の2回実施しているが、2回では対応できていないと感じている。

商工費

Q 廃石膏を利用した土壌改良剤の成果と実用化の目途は。

A 普通肥料として承認が得られる方向にあり、普及していけるよう推進していきたい。

Q 観光協会は、日本版DMO候補法人に登録された。コロナ禍での実績、取り組みは。

A 国・県の補助金で、キャンペーンイベントや外国人向けにモニターツアーなどを実施されている。

消防費

Q 備品購入費で冷却ミスト機がある。何台どこに配置されるのか。

A コロナ対策で避難所を開設した時に設置するよう4台購入した。



冷却ミスト機

教育費

Q GIGAスクール構想は国の補助金で対応できるのか。

A タブレット端末は、3分の2、モバイルルーターは2分の1が補助事業である。維持管理については国の補助はない。

Q 学校防犯カメラの設置事業は令和2年度事業であるが3年度に繰り越した要因は。また、現在どのような状況か。



設置された防犯カメラ

A GIGAスクール補助事業の対応などに時間を要したため。東小・南小は9月から運用開始している。中央小・中学校は10月から。

Q 波佐見町奨学金貸付制度は利用者が少ない。内容を見直してはどうか。

A ほかの制度と見劣りが無いよう検討したい。

災害復旧費

Q 農地の災害復旧工事はどのような手続きになるのか。

A 国の補助事業は、40万円以上で設計積算委託を行い、国の査定を受け、金額により指名競争入札、随意契約となる。



被災現場

令和3年度一般会計補正予算(第2号)



歳入	国庫支出金・諸収入	600万円	補正額	5100万円
	ふるさとづくり応援基金繰入金	4500万円		

歳出	波佐見高等学校支援事業	事業合計額	1000万円
	<ul style="list-style-type: none"> 入学支援金 750万円 (1人 町内10万円・町外5万円) 大学等受験料補助金 150万円 (1人 3万円上限) 部活動遠征費補助金 100万円 		

学校給食支援事業(9・10・11月減免)	事業合計額	1400万円
<ul style="list-style-type: none"> 小学生 合計 878万2200円 (1人 4200円×3か月×697名) 中学生 合計 513万円 (1人 5000円×3か月×342名) 		

学生等臨時応援商品券支給事業	事業予定額	1640万円
<ul style="list-style-type: none"> 大学(院)・短大・専門学校生など対象 コロナ禍での生活支援物品購入のための商品券 1人5万円分を配布 		

<ul style="list-style-type: none"> 経営継承・発展等支援事業 	200万円	<ul style="list-style-type: none"> 伝習館内装改修工事 	790万円	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休業中教材費 	70万円
--	-------	---	-------	--	------

討論

予算案の中の波佐見高等学校支援事業について、7名が討論しました。

反村

三石 孝 議員

魅力づくりのための機材や設備の整備に財政的支援を行うべき。現金給付の支援策は熟慮されたとは言えない。

田添 有喜 議員

まず町が何にお金を使うべきかを考えてほしい。支援には賛同だが、現金支給が子どもの進路決定を左右することに危険性を感じる。

賛成

脇坂 正孝 議員

県内自治体でも地元高校への支援が実施されている。また、本施策は同校存続発展にとっての必要経費で、保護者の負担軽減にもつながると考える。

尾上 和孝 議員

同校の定員割れや学校統合の問題にとどまらず、本町基幹産業である窯業界の10年20年、さらにその先を見据えた支援であると考えている。

岡村 真由美 議員

とにかく「今」支援しないといけない問題であり、志願者を少しでも増やす手立てになるのではと考える。一人でも多く生徒を集めて切磋琢磨の機会を与えてほしい。

岡村 達馬 議員

高校存続の危機は土地などの評価を下げる恐れがあり、経済・地域活性化の観点からも損失になりうる。魅力あるまちづくりへの影響が大きく、支援策に賛成する。

城後 光 議員

行ける学校を選ぶ生徒は一定数おり、本策を志望校の検討材料にする家庭はある。対策を打ったから存続できたと言えるきっかけになると信じている。

中央小学校施設長寿命化改修工事(2工区)請負契約の締結について

事業費 9622万8000円

外壁等改修(防水・塗装)・人工芝張替

波佐見町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例

制度改正により住民基本台帳カードの発行団体が地方公共団体情報システム機構に明確化され、再交付申請手数料が直接機構に納付されるようになるため、町の交付手数料については削除するもの。

9月定例会 議案審議

令和3年度一般会計補正予算(第3・4・5・6号)

第3号 (専決処分)	歳入(県補助金 2650万円) 歳出(商工振興費 2650万円)	基金繰入金 150万円 環境衛生費 150万円	
第4号 (専決処分)	歳入(県補助金 2600万円) 歳出(* 商工振興費 5700万円)	基金繰入金 1億5100万円) ** 災害復旧費 1億2000万円)	

討論

- * 営業時間短縮協力金の第Ⅲ期分(9/7～9/20)が見込みで計上されたものですが、実際には、9/12までの支給となりました。
- ** 内訳は、農地農業用施設69か所、林道施設5か所、公共土木施設23か所、公共施設1か所、の測量設計委託料が主です。なお、激甚災害に指定されると国からの補助があります。

反対

三石 孝 議員

議会の審議を経て決定すべき案件であり臨時会を招集すべきだった。
専決処分の要件となる「時間的余裕がないことが明らかであると認めるとき」に当たらない。

反対

脇坂 正孝 議員

内容には賛成だが、臨時会を開催する暇がなかったかは疑問である。
専決処分の乱発にならないよう、手続きを踏んでもらいたい。

賛成

城後 光 議員

非常に緊急性のある案件であり、切れ目のない支援を行うためという理由は十分理解できるし、臨時会は必要に応じて招集されている。7月にも開催された。

賛成

藤川 法男 議員

議会で審議せず予算化するのはいくはないが、コロナ禍で飲食店は疲弊しており、本件は措置を急ぐ案件である。
議会と行政は互いを尊重して事を解決していくべきだ。

賛成

今井 泰照 議員

関係課は多忙だったはずなので、臨時会の開催は無理だと判断したことに同意する。

賛成

北村 清美 議員

商店街を切れ目なく支援する、災害復旧を急ぐという内容の案件であり、専決処分は当然である。

第5号	歳入(地方交付税 1億1742万円) 寄付金 1億円	国庫支出金 1242万円 基金繰入金 7520万円(他)	
	歳出(総務管理費 1億4097万円) 衛生費 1529万円	民生費 8051万円 土木費 4336万円 農林水産業費 1033万円(他)	
第6号	歳入(基金繰入金 6000万円) 歳出(災害復旧費 6000万円)		

(注)金額は全て補正額。第5号は千円以下切り捨て。

*補正予算第6号が可決され、

令和3年度一般会計予算の歳入歳出額は、それぞれ **91億6000万円** となっています。

総務文教委員会

総務文教委員会は、7月から9月にかけて、総務課、税務課、教育委員会の事務について4回にわたり調査を実施した。その中で、8月3日に通学路の安全対策を議題に現地調査をした。

小学校の通学路は、各小学校で児童の自



通学路の現地調査の様子

宅から学校まで、それぞれ指定されている。

今回は、平成30年度に各小学校の保護者アンケートで危険箇所として指摘された全71箇所中10箇所を実施した。うち、2箇所は、道幅が狭く暗かったので、道路事情の変遷により安全な経路に変更していいのではないかと改善を求めた。これについては、教育委員会も学校に働きかけを行っているとのことであった。



産業厚生委員会

産業厚生委員会は、6月30日に農林課・商工観光課、8月19日に長寿支援課・水道課の調査を行った。

「農林課の調査内容」

(1) 小規模農林事業について

- ① 農業用排水整備
- ② 暗渠排水等整備
- ③ 農林道整備
- ④ 溜池等整備
- ⑤ 農地等災害復旧事業

これらの事業について、一定の基準に基づき助成が行われている。

《委員からの提言・改善点》

・複数年にまたがる事業は、一度の申請

で対応すること。

- ・採択基準に関係戸数2戸以上とあるが農業者の減少は著しく、関係戸数の条件を撤廃すること。
- ・災害復旧事業を行う場合は、地元任せにならないよう手続面で、積極的に協力すること。

(2) 農業振興政策について

《委員からの提言・改善点》

無策での現状突破は難しい、大胆な政策の実施が必要。

委員会 レポート

議会運営委員会

9月議会定例会から、波佐見ケーブルテレビの協力により、一般質問、決算特別委員会審議及び議案審議を生中継しました。また、一般質問の動画配信を開始し、本誌掲載のQRコードを読み取り、動画をご覧ください。

今後も、定例会及び臨時会の審議の中継及び録画配信を行う予定です。

町民に開かれた議会に向けて、今後一層

取り組みを進めてまいります。

また、行政分野で情報化が進んでいるため、本町議会においてもタブレット端末を活用したペーパーレス化に取り組んでいきます。

コロナ禍で、皆様と直接接する機会が限定されていますが、今後感染対策を徹底しながら、意見聴取ができないか、各委員会にて検討していきます。



QRコードを読み込み、一般質問の動画をご覧ください。



議会の生中継の様子

賛否表

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わりません。

		議席No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	会議の結果
		議員名	澤田 昭則	岡村 真由美	田 添 有喜	岡村 達馬	福田 勝也	城後 光	横山 聖代	三石 孝	北村 清美	脇坂 正孝	藤川 法男	今井 泰照	尾上 和孝	
7月臨時会	補正予算	・令和3年度一般会計補正予算(第2号)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例	・波佐見町使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	・中央小学校学校施設長寿命化改修工事(2工区)請負契約	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9月定例会	専決処分	・令和3年度一般会計補正予算(第3号) ・令和3年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認 承認
	補正予算	・令和3年度一般会計補正予算(第5号、第6号) ・令和3年度特別会計補正予算 介護保険(第1号)、公共下水道(第1号) ・令和3年度上水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	条例	・波佐見町国民健康保険条例の一部を改正する条例 ・波佐見町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	補正予算	・財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	決算	・令和2年度一般会計 ・令和2年度特別会計 国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、 公共下水道 ・令和2年度企業会計 上水道、工業用水道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定 可決及び認定
	その他	・波佐見町道路線の廃止について ・波佐見町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事	・人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議はない
	発議	・波佐見町議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

急げ



岡村 達馬 議員



議員 コロナ感染拡大で、教職員の貴重な経験や指導が生かせない状況にある。

議員 日常の学校生活や密になりがちな体育やクラブ活動などの対策は、飛沫感染を避けるため、直接接触をしない。

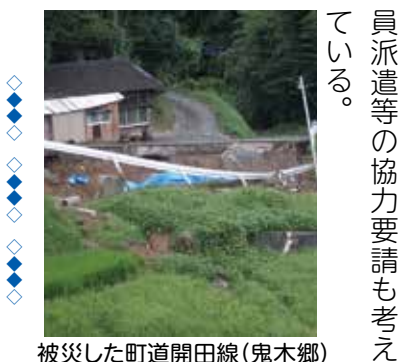
教育長 家庭と情報共有を行い、検温・健康観察などで体調の把握に努めている。

議員 県中学学力調査では、微小ではあるが県平均を下回っている。向上を図るための対策は。

町長 被災はあるのか。生活道路確保のため、町道三ノ股線では2か所行った。

議員 災害関連事業等への取り組みが考えられるか。

町長 現在の被災状況を見る限りは考えていない。



被災した町道開田線(鬼木郷)

9月
定例会

11人が登壇 一般質問

9月定例会会議録は、11月下旬ごろ町ホームページに掲載します。

<https://www.town.hasami.lg.jp>

QRコードを読み取ると各議員の動画が見られます。

※は掲載項目です

ページ	議員名	質問項目
10・11	岡村 達馬	※・コロナ下の学校生活及び学習指導 ・通学路の安全対策 ※・8月豪雨による公共土木災害、農林業災害の状況
	城後 光	※・自然災害対応 ※・インターネット環境の推進 ・イノシシを中心とした有害鳥獣捕獲
12・13	田添 有喜	※・教育行政 ※・防災行政
	藤川 法男	※・安心安全なまちづくり対策 ・新庁舎建設事業 ・シルバー人材センターの支援
	北村 清美	・8月豪雨による被害状況等 ※・高齢者対策 ・住環境整備対策
14・15	横山 聖代	※・広報のあり方 ※・安全を確保するための避難所運営
	澤田 昭則	※・新型コロナ対策 ※・川棚高校の支援策 ※・町営住宅の環境整備
	脇坂 正孝	※・教育委員会事務局の新庁舎移転 ・小中学校施設の整備 ・公有地の環境整備
16・17	岡村真由美	※・8月の記録的大雨 ・町道及びその法面の除草 ※・波佐見高校存続のための支援策
	尾上 和孝	※・波佐見町講堂の活用
	三石 孝	※・西ノ原土地区画整理事業



城後 光 議員

指定避難所へのWi-Fi 設置を

町長

前向きに検討したい



町長 自治会や住民から寄せられる電話を各担当部署が受け付け、担当者が現地で状況を確認する。1日分を建設課・農林課が一つの地図にまとめ情報共有を行った。

議員 同一箇所の災害現場を複数の担当で確



豪雨で通行止めの町道中居山線(井石郷)

町長 大規模な自然災害が発生した場合、同一現場の情報を複数から通報される場合がある。

議員 8月の災害において、役場内ではどのように被災状況を共有したのか。

町長 災害情報共有の仕組みについては、事務効率化のためにも検討を行いたい。

町長 総務省などからアドバイザーの派遣などが示されており、今後の状況をみながら検討していきたい。

議員 指定避難所となる公共施設に公衆Wi-Fiを導入する考えはないか。

町長 デジタル庁が発足し、国を挙げてデジタル社会に向けた取組が進む。自治体においても急務である。

議員 役場のICT利活用推進のために、専門人材の派遣を受ける考えはないか。

町ホームページは更新頻度が増しアクセスが大きく伸びている。

もっと見やすいページになるよう努力してほしい。

つぶやき



町長 想定外の災害が頻発する現状を踏まえ、避難者への配慮のため前向きに検討を行っていきたい。

大雨による災害復旧を

町長

あらゆる対応を急ぎたい

議員 体調の変化や健康状態の把握は。

町長 い。手洗いを徹底するなど基本的な対策に取り組んでいく。



縮小、延期の学校行事

議員 8月の豪雨により、公共施設や農地、林道災害が多数発生した。

教育長 学力向上には多角的な取り組みや学力調査の分析などの対策が必要。

町長 早急に町単独事業でも復旧工事を行う被災

議員 災害復旧業務に對しての課内外からの応援または災害復旧係等の必要性は感じるか。

町長 建設課、農林課の職員総出で災害対応業務を行っている。場合によっては他自治体からの職

コロナ禍で学校生活や学習に支障をきたしている。

大雨による災害復旧も喫緊の課題である。急いで対応をお願いしたい。

つぶやき





藤川 法男 議員



議員 コロナ禍で地場産業の売上不振が続く支援が求められる。

議員 窯業は各イベント中止や大型店舗の時短営業など、その影響は深刻である。本町としての支援策は。

河川の法面改修工事の予定は



田添 有喜 議員



町長

県は地元の要請があれば検討

議員 本町では教育に対する関心は高く、教育施設の充実には他に誇れる。しかし児童生徒の学力の定着や通学路の安全確保には課題がある。

議員 学力向上の課題は、読解力にある。

議員 読解力の向上は、読書活動の充実にあると考える。各学校の図書標準冊数は満たされているか。中央小学校と中学校で満たしていない。

議員 通学路の合同点検は、夏休み中に実施すべきでは。

議員 コロナ禍で農産物の価格が下がり、何らかの支援が必要と思うかどうか。

町長 農産物の売り上げが減少し農業経営に影響を及ぼす場合、国・県の事業も利用しながら町独自の支援も検討したい。

議員 コロナ禍の中、住民の生活は不安な状況が続いている。そこに8月の大雨で多くの災害も発生し、住民の不安を一層大きくした。河川の総点検を行うべきではないか。

教育長 各学校の保護者からの聞き取りアンケートの集約や一覧化に時間を要した。本来ならば2学期登校前に行うべきであった。



東小校区通学路

議員 8月の豪雨災害の復旧計画は関係者に早急に示してほしい。特に林道金屋線や鬼木地区の復旧が求められているかどうか。

町長 町の単独事業は難しい。林道金屋線の上流部は林道災害、中間部は治

町長 県が管理する二級河川が約40km、町が管理する普通河川が約25kmある。

議員 町行政のみでの対応は難しく、自治会などにも相談し、協力を得る必要がある。

議員 村木川の稗木場郷春田橋から山角橋間の法面改修工事の予定は。

町長 県によると、現況が土羽の護岸でも、特に侵食や崩壊などがなく健全な状態であるため、緊急



土羽状態の法面



復旧が待たれる林道金屋線

行政に頼らない「避難態勢」の確立が急務！指定避難所以外の身近な避難場所の支援を充実すべき。「慣れが一番怖い」

つぶやき



大雨時の川棚川

性はないと判断し、改修工事の予定はない。



北村 清美 議員

高齢者福祉対策は

町長

地域共生社会の
充実を目指す



今後、人口減少と高齢者の割合増加が急速に進む。誰もが波佐見町に住んでよかったと思える施策の一つとして、他の自治体にはない高齢化社会に対応したまちづくりが必要である。

議員

本年度から高齢者タクシー利用券※が配布されているが対象者は、※200円券60枚
(1万2000円分)

町長

対象は、①75歳以上
②町内に住所を有する
③運転免許証を持っていない
④在宅障害者福祉

地場産業に支援を

町長

できる限り支援を
したい

町長

国・県の支援として、展示会の助成などはあるが、採択率が悪い。創意工夫する企業には助成も考えたい。また、来期の陶器まつりが中止の場合の費用は支援したい。



崩壊した法面(大鬼木地区)

8月の豪雨による土砂災害などが各地で発生し、行政や自治会などでの被害の確認作業が行われた。

タクシーの交付を受けていない方。

議員

高齢者タクシー利用券の効果と問題点は、

町長

運転に不安があった高齢者の免許証自主返納が増え、乗合交通利用促進に一定の効果があった。問題点としては、財源の確保とタクシーの台数不足が考えられる。

議員

今後、高齢者福祉をどのように考えているか。

町長

高齢化率は、全国平均を上回り32.3%。およそ3分の1が65歳以上。高齢者のみの世帯も増加の傾向で、介護人材の減少も加わり、深刻さを増している。



いきいき百歳体操の様子

つぶやき

林道金屋線の

復旧工事は3年かかるようだが、早急に完了してほしい。

ている。

高齢化の進行を町民全体の問題としてとらえ、生きがいと活力のあるまちづくりに取り組む必要がある。

つぶやき

今後に期待が持てる元気な答弁。

町長の意気込みに期待しております。



澤田 昭則 議員



町長 新型コロナウイルスによる休業時
短要請や外出自粛に伴い事
業者は今後も厳しい状況が
続く。

議員 本町独自の緊急経済
支援などは追加でき
ないか。

飲食店などには給付
金が支給されるが期

町長 県立波佐見高等学校支援
事業は、入学支援金などで
他校との差別化を図り、存
続のための生徒確保を目的
としている。

議員 公正公平になるよう
川棚高校に入学する
波佐見中学生にも経済的に
何らかの支援はできないか。

町長 波佐見高校存続に寄
与することとはなら
ないため、実施すること
はない。なお、本町の波佐見
高校支援を受けて川棚町議
会においても川棚高校支援
に関する議論があり、今後
の動きも注視したい。

町長 平成31（令和元）年
度からの後期5か年
の計画では、点検、修繕・
改善による維持管理を実施
し、入居者の意見も聞きな
がら建替計画や改修を検討
している。

情報発信の見直しを



横山 聖代 議員



町長
研究したい

町長 町民への情報伝達の媒体
として、広報紙・回覧板・
防災無線・ライン@がある。
自治会未加入世帯に
も広報はさみを配布
できないか。

議員 加入を促進している
ため、個別配布まで
は考えていない。

町長 朝夕の防災無線の放
送内容を、ライン@に
掲載できないか。

議員 利用者が煩わしく思
い、ブロックする人
が増えることが懸念される。

町長 利用者がほしい情報
を選択し、受信でき
るサービスができないか。

町長 避難時はペット同行が原
則となっているが、知らな
い人も多く、受け入れ体制
も十分とは言えない。

議員 同行避難※をスムー
ズに進めるためにど
う取り組むか。

町長 文化会館の大道具室
をペット専用避難場



【福岡市のライン@】
情報がカテゴリー化
され選択できる。

町長 所と指定している。ホーム
ページや広報紙で啓発を
図る。

議員 同行避難※スペース
を事前に確保すべき
ではないか。

町長 利用者数や一般利用
者に配慮すれば、限
られた施設内で同行避難ス
ペースを確保することは難
しい。

町長 同行避難：ペットと避難
所まで一緒に避難すること
同伴避難：他の避難者が
いるスペースなどでペット
と一緒に避難生活すること

つぶやき
議会放送を観
た人から、同行避
難じゃないと避難
できないとの意見が多数き
た。難しいのは
承知のうえだ
が、まず研究か
らしてほしい。



ペット避難所



脇坂 正孝 議員



教委事務局移転は 見直しを

町長

計画通り実施

共有不足や連携の希薄が生じる。年々増加する様々な課題への迅速な対応も難しくなっていると認識している。これら諸問題解決のため移転が必要で、このこと自体がメリットである。
デメリットではないが、総合文化会館の管理面に不

町長

庁舎と教委事務局が離れていては、情報

議員

移転によるメリット、デメリットは何か。

教育委員会事務局の新庁舎への移転計画が進められている。



教育委員会がある総合文化会館

安の声があることは承知している。

議員

同会館には職員の常駐が必要。委託は経費の無駄だと思うがどうか。

町長

趣旨は、同会館の管理と社会教育事業の関連性だと認識している。管理は外部委託し、社会教育事業は新庁舎で各局と連携が深まり、一層充実できると考えている。これはホームページや町広報誌で公表している。また、該当団体には説明したい。

議員

意見公募で寄せられた団体からの懸念への対応は。

教委事務局の移転は、会館運営委員会、PTAなど、もっと多くの意見を聴くべき。

移転して困るのは利用する町民である。

つぶやき



町長 教委職員も適宜、同会館で業務を行い、外郭団体と連携を図り、適切な会館事業を行っていき

本町単独の経済支援を

町長

積極的に支援したい

間も長引き町単独で加算金の支給を考えている。また、該当する飲食店以外で8月9月において売り上げが50%以上減少した事業者には月10万円を2か月分給付するという県の提案があり、減少率で支援がない事業者は、町単独で検討している。

県立波佐見高校支援事業

入学支援金

(令和4年度から実施)

・町内10万円 ・町外5万円 (生徒1人につき)

通学費支援金

(令和4年度から実施)

通学用定期券購入費の半額 (月額上限5千円)

通学困難者家賃等支援金

(令和4年度から実施)

下宿代・賃貸住宅費の半額 ・下宿/月額上限1万円 ・賃貸/月額上限2万円

進学費支援

(令和3年度から実施)

大学・短大・専修学校等の受験料補助 (1人上限3万円)

部活動遠征費補助

(令和3年度から実施)

遠征費貸切バス等の利用費用(予算年額100万円)

事業予算合計額・年間1000万円

画は。

議員

今後の町営住宅計画は。

昭和40年代に建てられた町営住宅は、老朽化が著しく床面積も狭く現在の住宅需要に合っていない。

コロナ経済支援で協力金をもたらえない事業者もある。

経営が厳しく何らかの支援をお願いしたい。

つぶやき





尾上 和孝 議員



町長 2025年に長崎県で国民文化祭及び全国障害者芸術文化祭が初開催される。計画は。

議員 サテライト会場となる波佐見町講堂での

本年度は「波佐見講堂・ジャズフェス

議員 国民文化祭に向けた講堂周辺の景観整備が必要では。

町長 講堂と一体となった景観整備ができれば来訪者の印象や利便性も良くなると思われる。どのような整備が可能か検討する。

教育長 適切に使用できる方法を講堂ファンクラブと協議しながら検討する。

ントも何度か開催されている場所でもある。今後、講堂に「ストリートピアノ」を置く事により、活性化につなげられると思うかどうか。



東京都庁にあるストリートピアノ

寮費補助の公表はいつ

町長

令和4年度の当初予算に



岡村 真由美 議員

町長 8月に「大雨特別警報」が本町に初めて発令され、倒壊家屋が発生するなどの大きな爪痕を残した。

議員 町内全域に避難指示が出されたが、実際に避難した人の数と割合は、ピーク時は、55世帯130名で人口の約0・9%だった。

町長 倒壊の危険がある家屋が7軒あると把握

議員 空き家が災害の原因になる恐れがある。特定空き家に指定し、改善できないか。

議員 7月の臨時議会で波佐見高校への支援策として補正予算が組まれたが、志願状況は依然として厳しい。

町長 入学金を補助しても志願者増は期待できない。地区から要望があれば、所有者に対策を促したい。



倒壊家屋横の山

7月発表の志願状況

学科	定員	希望者	倍率	前年7月
普通	60	30	0.50	0.77
美術・工芸	20	19	0.95	0.55
商業	40	15	0.38	0.18
合計	120	64		

町長 高校の補助要綱に設けているので、4年度の当初予算に要求する予定。

ない。遠すぎて通学できない生徒を受け入れるためには寮費の補助がより効果的だと思う。公表が遅れたら令和4年度の入学者増に合わないと思うが、いつ予算化する考えか。

6月議会の答弁
にあった災害時の
備蓄目標量の「人口の5%、
3日分」は妥当な
数だろうか。

つぶやき



議員 波佐見高校存続のための一連の支援は、地域振興策だと考えるが。

町長 本町の大きな活性化、知名度アップにつながるものと考えている。



三石 孝 議員

事業推進の加速化に 大胆な動きを

町長

そういう気持ちで
やっていく



議員 本事業
はなぜ
遅れている
のか。

西ノ原土地
区画整理事業
は、着工から
22年が経ち、
完成まであと
約50年かかる
といわれている。
事業の加
速化が求めら
れている。

金額の単位：円

	総事業費	本年要望額	決定額(内示率)	交付額	職員数
波佐見町	6,000,000,000	150,000,000	98,000,000(約65%)	49,000,000	1名
長与町	31,600,000,000	627,500,000	554,750,000(約88%)	313,750,000	10名 (県2名)
時津町	15,000,000,000	1,055,000,000	796,000,000(約75%)	398,000,000	8名

設一般業務と半々が本事業
となる。

町長

担当者を1名建設課
に配属している。建

本町は何名で、仕事量は。
(県職2名)、時津町が8名。

と8年である。

議員

長与町は完了まで
と5年、時津町はあ

済が最大の要因である。

町長

中央小学校に27億2
700万円、総合文

化会館に21億6000万
円の建設費を要した。この返

議員

管理体制は。

教育長

講堂の開放と保全業
務を「NPO法人波

佐見講堂ファンクラブ」に
委託している。

議員

講堂は、音響も良く
有志による音楽イベ

議員

ピアノにインスタ映
えするペイントがで

教育長

今あるピアノとの関
係になるが、講堂

ファンクラブと一緒に検討
していきたい。

議員

本事業は、そんなに
簡単な業務なのか。

町長

簡単な業務ではない。
大変な事業である。

議員

町長は、就任以来23
年という長きにわた

り、いろいろな事情で事業
を思うように進められな

かった。最後はこの問題に
決着をつけて有終の美を

飾ってはどうか。キーワー
ドは『今』であり、大いに

期待する。

町長

大変大な期待をい
ただいたが、そうい

う気持ちでやっていく。で

- ①職員体制(増員)
を整え
- ②予算を計上し
- ③町長が(政治的に)動く。

つぶ やき

3つが揃うと内示
額は上昇する。
『やる気』の表明
が大事。



きることではできない、できな
いことはできない。しかし
チャレンジはする。よりよ
い西ノ原土地区画整理事業
の育成ができるように頑
張っていく。

講堂周辺の景観整備は

町長

どのような整備が
可能か検討する

「ティバル」を国民文化祭の
機運醸成プログラムとして
実施する。
今後、県の実行委員会な
どの組織が立ち上がり、具
体的な事業計画の協議が始
まる。

議員

管理体制は。

教育長

講堂の開放と保全業
務を「NPO法人波

佐見講堂ファンクラブ」に
委託している。

議員

講堂は、音響も良く
有志による音楽イベ

議員

ピアノにインスタ映
えするペイントがで

教育長

今あるピアノとの関
係になるが、講堂

ファンクラブと一緒に検討
していきたい。

つぶ やき

熱い思いと運動
により、守ってこ
られた委託先の意見を取り入
れながら、より良
い保存・利活用を
図ってほしい。



傍聴者の声

9月定例会には延べ**52人**の傍聴者がありました。
いただいたご意見を紹介します。

帰宅して、ケーブルテレビで議
会を観られてよかった。生中継放送で、
議会への関心が深まると思う。

傍聴席からは、執行部の答弁される方の
顔がよく見えません。もう少し顔を上げて
話されてはどうでしょうか。

運転免許証を返納したいのですが川
棚警察署まで持って行かないといけま
せん。一人暮らしなので、役場で返納
手続きができないでしょうか。

単なる思いつきではなく、地域や現
場の声を具体的に調査・研鑽に基づき
質問は、町当局と議員の間で、よい意
味で緊張感をもたらすと期待している。

今回から生中継が実現されました。今後とも町行政全
般にケーブルテレビを活用することで、町民と町政を結
びつける一助に有効なツールとなっていくことと思う。



傍聴者アンケートから

① 年代

50代男性	1名
60代男性	5名
70代男性	3名
70代女性	12名

② 音声

- 聞きやすかった 13名
- 聞きづらかった 4名

→ ・音声がよく聞き取
れなかった。
・発言者(答弁者)に
よって違った。

③ テレビモニター

- 見やすかった 9名
- 見づらかった 4名

→ ・前列の一番窓側は見
づらかった。
・議員の顔が見えにくか
った。
・モニターが小さかった。

次回定例会は12月8日から15日までを予定しています。

議長
発行責任者

百武辰美

澤田昭則
岡村真由美
田添有喜

委員
副委員長

岡村達馬
岡村勝也
福田清美

議会広報調査特別委員会

「議会だより」も町民の皆様
からの貴重なご意見・ご要望に
感謝しながら、議会の活動を分
かりやすく編集しています。
今後とも町民の皆様にご愛読
いただけることを切に願ひ、広
報委員一同、一層精進していま
します。
(田添有喜)

編集後記

実りの秋も終え、農家では田
畑に感謝の「礼肥」を与えられ
ておられます。また、来春に大
きな期待を抱いて、「寒肥」を
与えられ、新たな出発が始まっ
ています。

